

ACTION



ハイマツモード
ウイングバインダーは高機動空戦形態=ハイマツモード時に展開され、その状態では機動性だけでなく、姿勢制御をはじめとした運動性も大幅に向上する。

REAR VIEW



GIMMICK



レール砲は、引き出し式グリップによる保持も可能。



ライフルは腰部にマウント可能。

※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。



※画像はイメージです。

C.E.71.04.01、ZGMF-X09A ジャスティスガンダムと共にロールアウトしたZGMF-X10A フリーダムガンダムだったが、その直後、ザフト首脳部に疑問を抱いたラクス・クラインによってキラ・ヤマトに託されることとなった。フリーダムガンダムを得たキラはアラスカに降下、JOSH-A攻防戦で苦境に立たされていたアークエンジェルを救っている。その後、アークエンジェルと共にオーブに入港したフリーダムガンダムは、オーブ攻防戦にも参加し、3機の第2期GAT-Xシリーズをはじめとする地球連合軍MS部隊と交戦。一時は追い込まれるも、アスラン・ザラの搭乗するジャスティスガンダムの参戦もあり、これを撃退。そして、オーブの自爆直前に宇宙へと脱出した。宇宙へと戻ったフリーダムガンダムは、地球連合軍のドミノオン、そしてザフトからの追撃を受けながら、L4にある廃棄されたコロニー<メンデル>での戦いを終えたのち、プラント本国へ放たれた核ミサイルを迎撃するなど、勢力を問わない活躍を見せた。そして、第1次連合・プラント大戦の最終決戦となった第2次ヤキン・ドゥーエ攻防戦では、ラウ・クルーゼの操るZGMF-X13A プロヴィデンスガンダムと激戦を繰り広げた。敵のドラグーンシステムに苦戦を強いられるもこれを撃破。こうしてフリーダムガンダムは、ラクス第三勢力の主戦力として、戦乱を終結に導いたのだった。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体ホワイト部:

ホワイト(100%)
+グレー(少量)

●額等レッド部:

モンザレッド(60%)
+シャインレッド(40%)

●胸部等ダークブルー部:

ブルー(40%)+レッド(25%)
+ブラック(20%)
+ホワイト(15%)

●関節等グレー部:

グレー(80%)
+ブラック(20%)

●腹部等ブルー部:

インディブルー(60%)
+ホワイト(40%)
+ブルー(少量)

●レール砲等ライトグレー部:

ホワイト(50%)
+ブルーグレー(40%)
+パープル(10%)

●アンテナ イエロー部:

イエロー(55%)
+ホワイト(30%)
+オレンジイエロー(15%)

●メインカメラ等ライトブルー部:

みず色(100%)

ZGMF-X10A FREEDOM GUNDAM

Z.A.F.T. MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : ZGMF-X10A
TOTAL HEIGHT : 18.03m
WEIGHT : 71.5t
GENERATOR OUTPUT : UNKNOWN
THRUSTERS TOTAL PROPULSION : UNKNOWN
ARMAMENTS :
MMI-GAU2 Picus 76mm CIWS
MA-M01 Lacerta Beam Saber
LAMINATED ANTI-BEAM SHIELD
M100 Balaena Plasma Beam Cannon
MMI-M15 Xiphias Rail Cannon
MA-M20 Lupus Beam Rifle



1/144 SCALE

HG
COSMIC ERA

GUNDAM.INFO

Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your internet method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の自己責任となります。

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN

※画像の完成品は塗装してあります。

0196727



※ここに掲載している情報は2015年8月現在のものです。

ZGMF-X10A フリーダムガンダム

ザフトが開発したハイエンド試作MSが、このZGMF-X10A フリーダムガンダムである。開発はパトリック・ザラの指示により、ザフトの統合設計局(ZGMF-600 ギーツの開発時に主要設計3局であったハインライン、アジモフ、クラークを統合したもの)が担当した。本機最大の特徴はニュートロンジャマーキャンセラーを実装している点にある。これによりビームライフルやプラズマ収束ビーム砲、レール砲といった大電力を必要とする兵器の装備と運用が可能となったほか、PS(フェイズシフト)装甲がほぼ無制限に使用できるようになった。また、背部には10枚のウイングバインダー(能動空力弾性翼)を備え、それらを展開することで「ハイマット(HIGH Maneuver Aerial Tactical)モード」と呼ばれる高機動形態をとることが可能であった。このモードではウイングバインダーの各パーツを可動させるほか、内蔵されたスラスタを用いることで高度な

姿勢制御能力を獲得、大気圏内外で高い機動性と運動性を発揮したのである。さらにハイマットモード発動時に平行してプラズマ収束ビーム砲、レール砲を展開した、「フルバーストモード」での戦闘も可能であった。本モードでは、マルチロックオンシステムとの運動によって単機で複数の目標への同時攻撃が可能であった。また、戦術強襲機ミーティアとの運動も前提としており、合体時はより高度な攻撃力を発揮した。しかし、その複雑化したシステムはコーディネーターの中でも特に優れた能力を持つ者でないと乗りこなすことはできなかった。その性能を引き出したのは、エターナルやアークエンジェルなど、第三勢力のパイロット、キラ・ヤマトであった。彼の能力があったからこそ、ZGMF-X10Aフリーダムガンダムはその能力を十全に発揮し、第1次連合・プラント大戦を最終に導いたのである。

M100 パラエーナ・プラズマ収束ビーム砲

背部ウイングパーツと一体化したビーム砲。使用時には、背部から両肩の上部へと展開する。フリーダムが装備する兵器の中で最大の射程と威力を誇る。



MA-M20 ルプス・ビームライフル

核動力機によって運用されるため、既存のタイプよりも高出力、高威力のビームを発射する。機体よりも先に完成し、既存機でテストが行われた。なお、ZGMF-X09A ジャスティスガンダムも同じものを装備する。

MMI-M15 クスィフィアス・レール砲

左右の腰部に装備されたレール砲。非使用時は3つに分割して折り畳まれている。115mmレールガン「シヴァ」を発展させた装備で、実体弾を用いることからラミネート装甲にも効果を発揮する。

MMI-GAU2 ビクウス・76ミリ近接防御用機関砲

左右のこめかみ部分に内蔵されたバルカン砲。連射性に優れるが、MSには威力不足だったため、主にミサイルの迎撃などに用いられた。



ラミネートアンチビームシールド

上半身を覆うほどのサイズのシールド。表面にはアークエンジェルにも用いられていたラミネート装甲を転用している。そのため、ビーム兵器に対しては極めて高度な防御力を有していた。また、大気圏突入時にも使用している。



MA-M01 ラケルタ・ビームサーベル

非使用時はレール砲上部に収納されている。核動力によって極めて強力なビーム刃を展開する。さらに柄同士を連結させることで、「アンビデクストラス・ハルバード」と呼ばれる双刃の状態にすることも可能。



SPEC

型式番号: ZGMF-X10A

全高: 18.03m

本体重量: 71.5t

ジェネレーター出力: 計測不能

スラスタ総推力: 計測不能

武装:

MMI-GAU2 ビクウス・76ミリ近接防御用機関砲

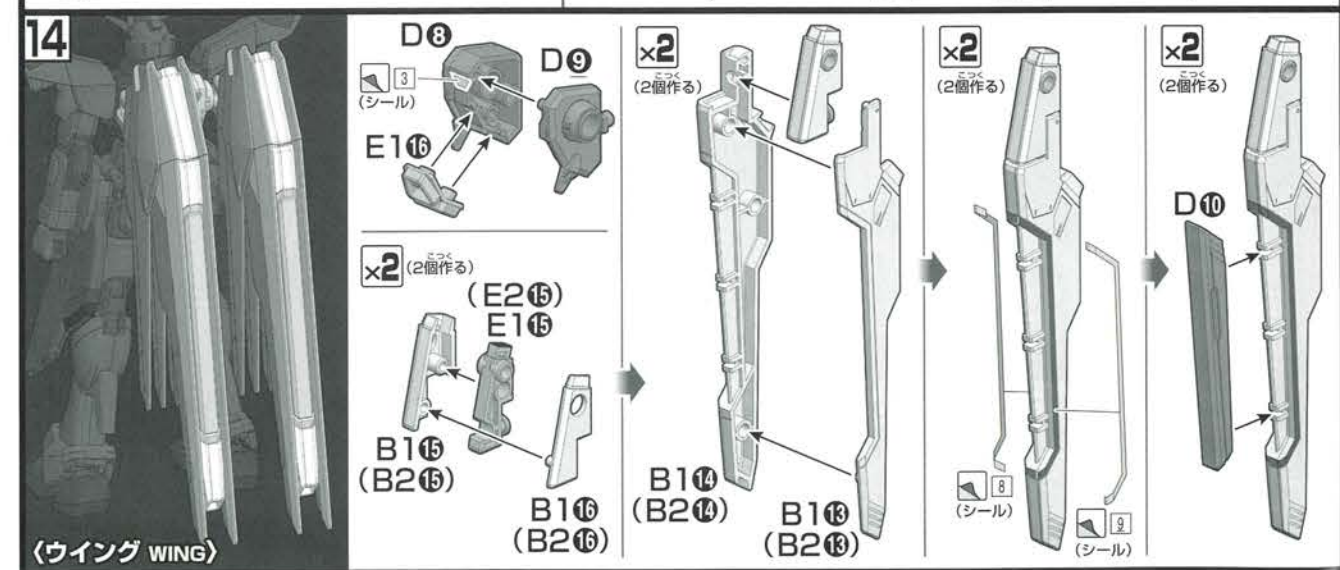
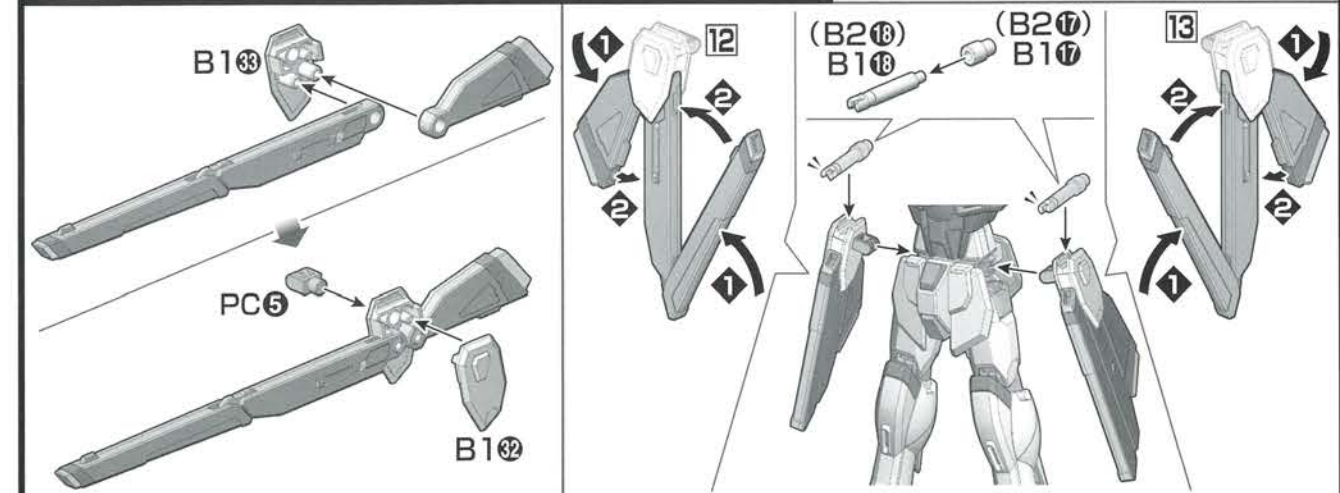
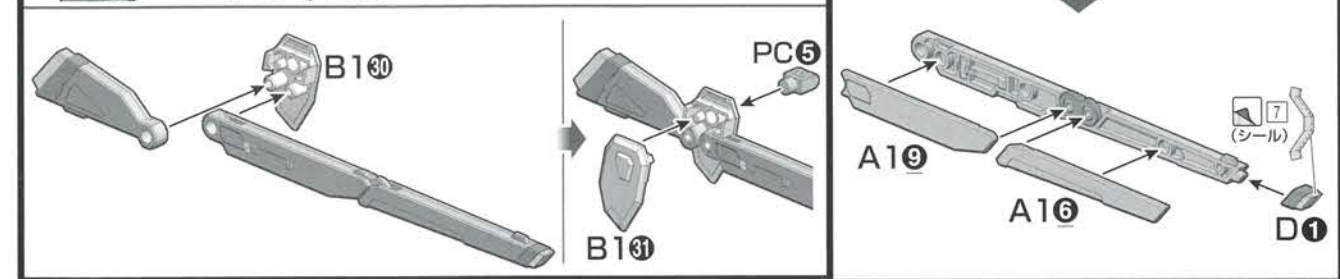
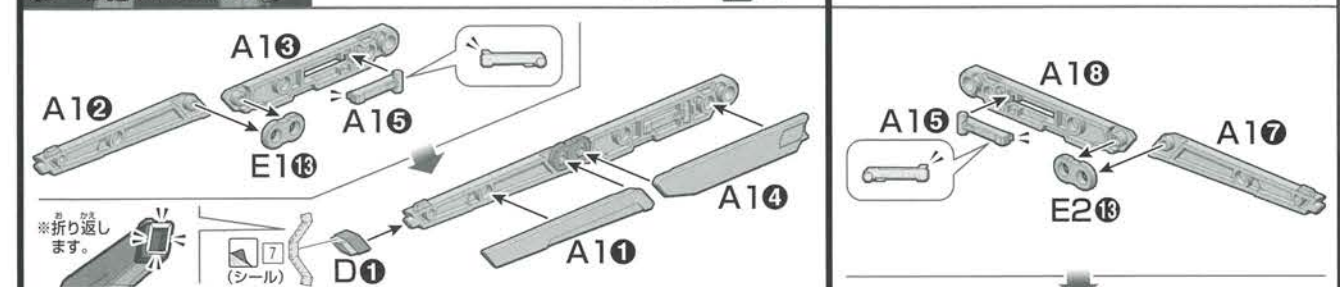
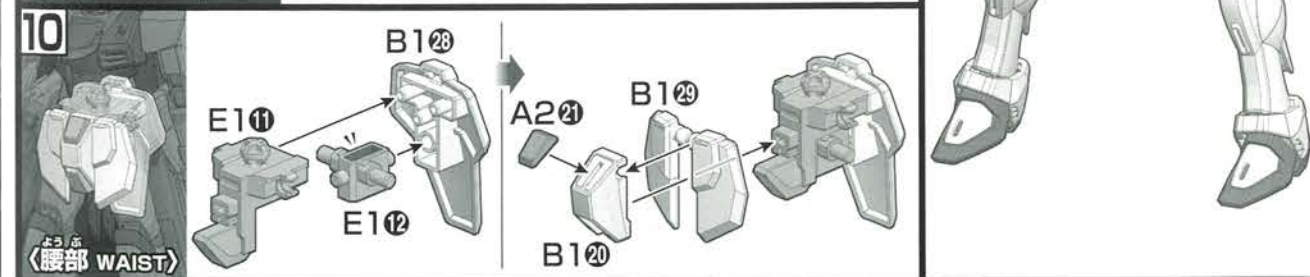
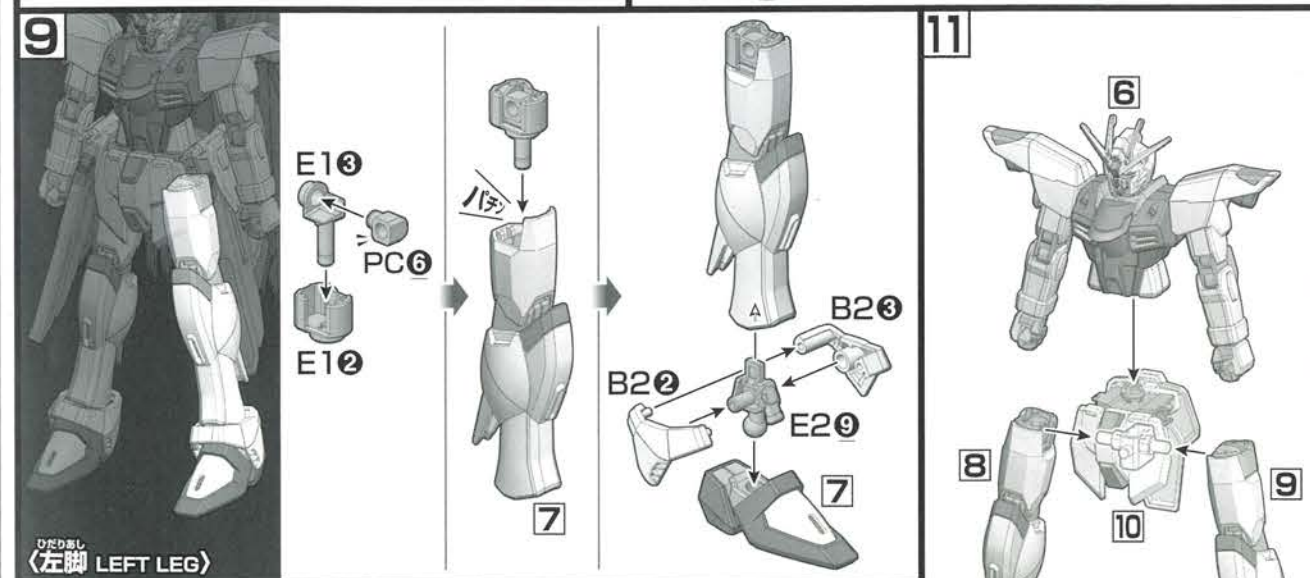
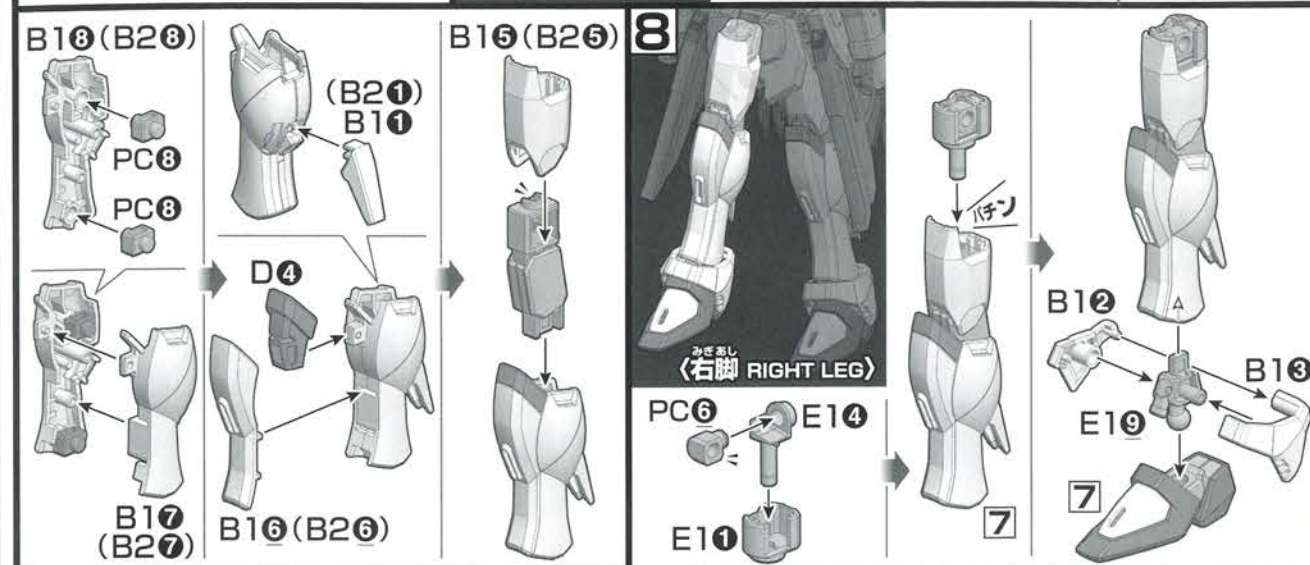
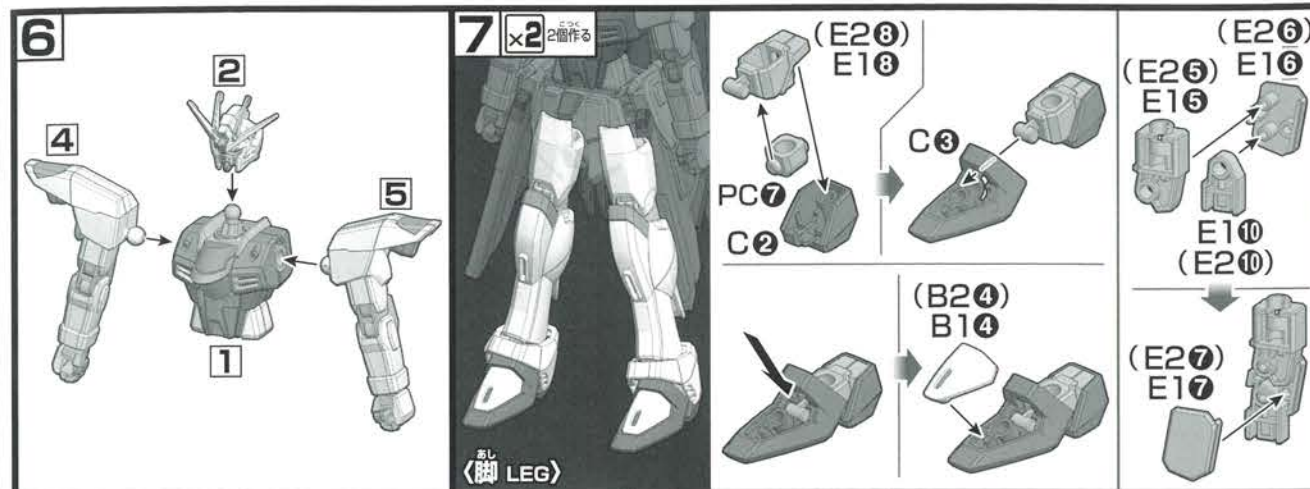
MA-M01 ラケルタ・ビームサーベル

ラミネートアンチビームシールド

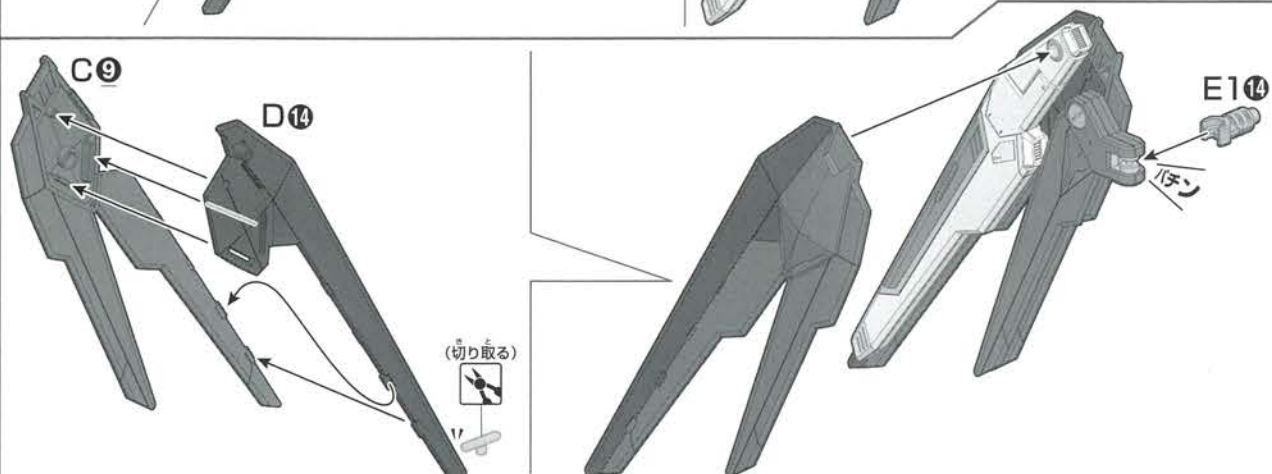
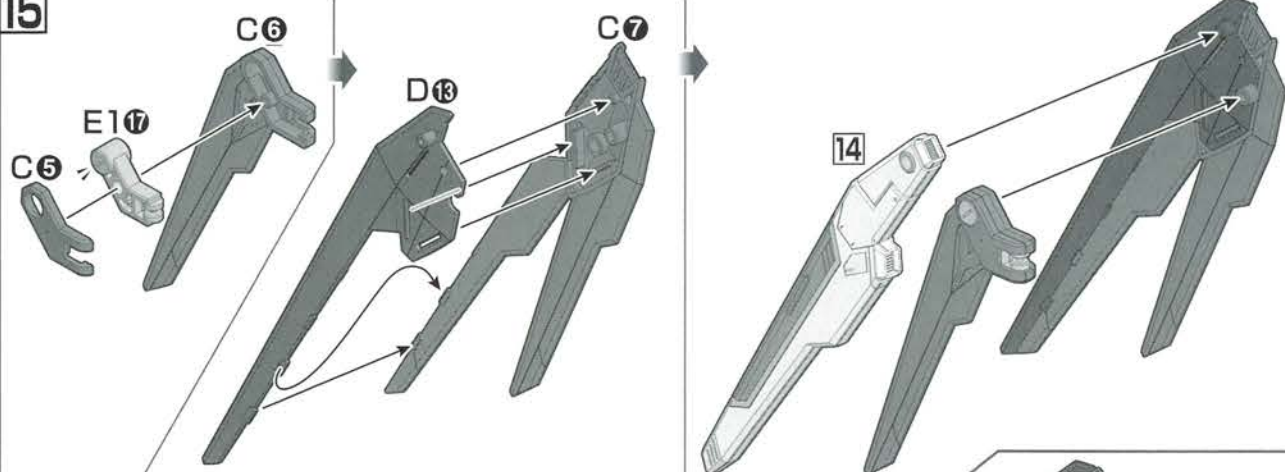
M100 パラエーナ・プラズマ収束ビーム砲

MMI-M15 クスィフィアス・レール砲

MA-M20 ルプス・ビームライフル



15



16

